



にかかわるお願いです

救急車の適正利用をお願いします

救急車の出場件数は、年々増えています。このままでは、緊急性があり本当に救急車を必要としている人への適切な救命処置などが遅れ、救える命が救えなくなるおそれがあります。限りある救急車が、緊急の傷病者のために出場できるよう「119番」通報する前に救急車を必要とするほどの緊急な事態かどうか考えてみてください。

▼問合せ 消防署救急係 (☎332・3104)



救急安心センターおおさかの利用を

突然の病気やけがで不安を感じている人に対して、医師の監督のもと、看護師・相談員が24時間365日、電話による相談に応じ、救急病院の案内や症状に応じた医学的見地からのアドバイスを行い、必要があれば救急車の出場にも対応します(相談料は無料)。

救急安心センター おおさかとは？

市では、大阪市消防局指令センター内に開設された「救急安心センターおおさか」に参画しています。この事業は、皆さんが救急車を呼んだほうがいいのか迷う場合などに、看護師などが的確に助言を行い、また、緊急に対応する必要がある場合、救急車を出場させるなど市民の皆さんに大きな安心と安全を提供するものです。

平成21年10月1日から「大阪市救急安心センター」として単独スタートしたこの事業は、平成22年4月1日に「救急安心センターおおさか」と改称して、松原市を含む15市が共同参画し、平成23年4月1日からは、府内全ての市町村を対象に救急医療相談サービスを提供しています。

「応急手当の仕方が分らない」
「病院へ行ったらいいの？」
「近くの病院はどこ？」
「救急車を呼んだほうがいいの？」
・・・など



突然の病気やケガで迷ったら
電話してください。

※健康相談や現在かかっている病気の治療方針、医薬品などの相談はご遠慮ください。

7119
または
☎ 06-6582-7119



24時間365日受け付けしています。
1カ月に約2万件も相談があります。



まつばら市民まつりで市消防職員も救急安心センターおおさかをPR

～救急安心センターを利用した事例～

①83歳男性
自宅の玄関先で転倒し、頭を打ち、大したことがないと様子を見ていたが、食事をしようとしたところ上手に箸が使えないため心配した家族が相談。救急搬送され、硬膜下出血と判明し緊急手術を実施しました。



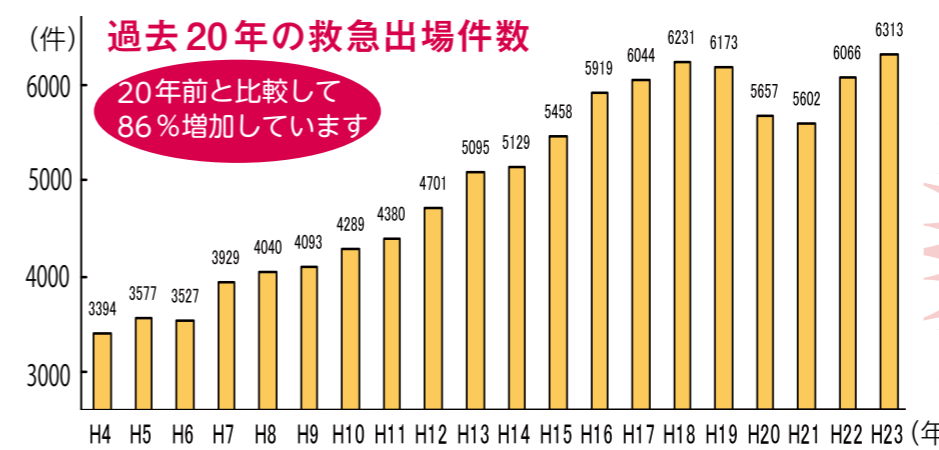
②6カ月の女児
深夜から様子がおかしくなり自宅で様子を見ていたが、急に呼吸の状態がおかしくなったため相談。救急搬送されウイルス性心筋炎と判明。救命処置を実施し救命されました。



救急車には限りがあります。緊急事態にだれもが利用できる救急車の台数には限りがあります。市消防署の救急出場件数は年々増えていて、平成23年中は6313件で、10年前と比較し23%、20年前と比較し86%増加しています。

約59%が入院の必要のない軽症者

平成23年中のデータでは、救急車で搬送された人の約59%は、入院の必要のない軽症者でした。東京消防庁により実施された世論調査によると、救急車を呼んだ理由として、「自力で歩ける状態ではなかった」、「生命の危険があると思った」を挙げている人が多くを占めます。しかし、中には救急車を呼ぶ理由として不適切な回答もありました。このままでは、本当に迅速な救命処置、医療機関への搬送が必要な重症患者のもとへ救急車の到着が遅れ、助かる命を救えなくなる可能性があります。緊急を要するような場合でない時は次ページで紹介する「救急安心センターおおさか」に相談するなどし、本当に必要な人が救急車を利用できるように、ご協力をお願いします。



このような救急車の利用は **No**

- 夜間・休日で診察時間外だった
- どこの病院に行けばよいかわからなかった
- 救急車で病院に行ったほうが早く診てくれると思った
- タクシーなど交通機関の代わりに利用
- 単なる酒酔い、突き指、打撲、切り傷など緊急性のないもの

救急の日 2012 ～応急手当を覚えましょう～

9月9日の「救急の日」を含む、9月9日(日)から9月15日(土)までの1週間は救急医療週間です。救急医療は多くの人によって支えられています。119番通報を受けてから救急車が到着するまでに約7分、この間の応急手当で尊い命はもっと救われます。下記日時に心肺蘇生法、自動体外式除細動器(AED)の使用の実技指導を行いますので、ぜひこの機会に参加してください。(11ページに関連記事あり)

とき 9月10日(月) 午前10時～正午
ところ 市役所1階市民ロビー
内容 心肺蘇生法、自動体外式除細動器(AED)の使用法、救急ビデオの上映、119番通報時の相談、救急パネル展示、血圧測定、健康相談
問合せ 消防署救急係 (☎332-3104)

